

(様式1)

ひ教施発第 41 号

令和3年 9月 7日

文部科学大臣 殿

茨城県ひたちなか市長 大谷 明

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

ひたちなか市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

平成30年度（1年間）

（担当）

ひたちなか市教育委員会施設整備課

住所：茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

電話：029-273-0111

E-mail：sisetsu@city.hitachinaka.lg.jp

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和3年8月

(2) 評価の方法

目標ごとに以下の指標で事業の成果を分析して評価する。
(2)地震、津波等の災害に備えるための整備
安全を確保することができたかどうかで評価する。
(4)教育環境の質的な向上を図る整備
大規模改造(トイレ)事業については使用状況から評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、計画どおりに実施できた。
小学校7校, 中学校6校, 幼稚園1園で実施した大規模改造(トイレ)事業では, 児童生徒及び教職員から好評を得ているほか, 施設面においても安全性や衛生面の向上が図られた。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

本計画では実施しなかった。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

老朽化したトイレの改修(和式便器の洋式化, 床の乾式化等の整備)を実施し, 災害時の避難所としての役割も果たす学校施設の防災機能の強化を図ることができた。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

本計画では実施しなかった。

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

大規模改造(トイレ)事業については, 老朽化したトイレの改修(和式便器の洋式化, 床の乾式化等の整備)を実施し, 教育環境の質的な向上を図ることが出来た。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

本計画では実施しなかった。

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

本計画では実施しなかった。

